

船舶事故調査報告書

平成30年7月18日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	衝突
発生日時	平成30年1月23日 11時40分ごろ
発生場所	神奈川県横須賀市久里浜港の東京湾フェリー（株）1号棧橋 久里浜内防波堤灯台から真方位258°440m付近 （概位 北緯35°13.3′ 東経139°42.9′）
事故の概要	旅客フェリーしらはま丸は、着棧中の旅客フェリーかなや丸に横着け作業中、かなや丸に衝突した。
事故調査の経過	平成30年2月16日、主管調査官（横浜事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 旅客フェリー かなや丸、3,580トン 133094、東京湾フェリー株式会社 B 旅客フェリー しらはま丸、3,351トン 131115、東京湾フェリー株式会社
乗組員等に関する情報	船長A、三級（航海） 船長B、三級（航海）
負傷者	なし
損傷	A 右舷中央部外板に擦過傷 B 左舷中央部外板に凹損を伴う擦過傷
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西、風力 5、視界 良好 海象：潮汐 下げ潮の中央期
事故の経過	A船は、船長ほか7人が乗り組み、東京湾フェリー（株）1号棧橋に左舷着けしていたところ、その右舷中央部にB船の左舷中央部が衝突した。 B船は、船長ほか7人が乗り組み、A船の右舷側に左舷着けで横着け作業中、右舷方から風を受ける状況下、行きあしがなくなった際、右舷方から突風を受け、圧流されてA船に接近し、船長Bがバウスタスタを使用してA船との距離をとろうとしたものの、A船に衝突した。
分析	A船は、左舷付けで着棧していたところ、B船が衝突したものと考えられる。 B船は、A船の右舷側に横着け作業中、右舷方から風を受ける状況下、風下となるA船への接近を続けたことから、行きあしがなくなった際、右舷方から突風を受けて圧流され、バウスタスタを使用したものの、A船に衝突したものと考えられる。
原因	本事故は、B船が、左舷付けで着棧していたA船の右舷側に横着け作業中、右舷方から風を受ける状況下、風下となるA船への接近を続

	<p>けたため、行きあしがなくなった際、右舷方から突風を受けて圧流され、バウスラストを使用したものの、A船に衝突したものと考えられる。</p>
再発防止策	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 風圧面積の大きい船舶は、状況に応じて風下となる船舶への横着け作業を中止することが望ましい。